

自立活動だより No.3

平成28年7月20日

越谷西特別支援学校

自立活動部

早いもので、本日で1学期が終了となります。
児童生徒たちは自立活動や日常の学習、運動会・宿泊学習等の行事を経験し、一回り大きく成長しました。

自立活動部も抽出自立や各学部の自立活動の授業等に参加しました。今年度も、2階の玄関近くの渡り廊下掲示板に1学期の抽出自立の様子を紹介しております。御来校の際には是非、御覧ください。



第1回保護者学習会の様子をお伝えします

7月14日の保護者学習会では、音楽療法士の鈴木涼子先生に、『音楽療法とは』～音楽でひと味違うコミュニケーションを楽しみましょう～というテーマでお話をいただきました。体験も行いながら、音楽療法の楽しさや奥深さに触れる貴重な機会となりました。



＜子どもへの支援の工夫＞

ねらいを達成するための方法として「楽器を隠して興味を促す」「間を生かして注目してもらう」「クイズを出して考えてもらう」などの具体的な方法を教えていただきました。また、お子さんのできることを生かして関わるのが、自己肯定感を高めるために重要だというお話をいただきました。



＜音楽療法のねらい＞

音楽療法というと「楽しい」「癒される」というイメージがあると思いますが、お子さん一人一人にに応じて「注目する」「集中する」「要求する」「ルールの理解」「相手とのやりとり」など、明確なねらいを持って行うことが大切だ、というお話がありました。これらのねらいは、自立活動でも大切にしている内容であり、共通点を感じました。



様々な楽器を紹介していただきました

サンダードラムという楽器です

【参加された保護者の方からの御感想】

- ・実際に楽器に触れられて、いい経験になりました。音って面白いなと思いました。
- ・知らない珍しい楽器を見せていただきました。これなら子どもも楽しめますね。参加型は楽しいと思います。
- ・(音楽療法は)ただ音楽を楽しむものと思っていたので、そこに目的があることが分かりました。

暑い毎日が続きますので、体調にはお気をつけて楽しい夏休みをお過ごしください。2学期もよろしくお願ひいたします。